

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和7年2月27日

事業所名 秋田県立医療療育センター

保護者等数(児童数) 89名 回収数 43名 割合 48.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	40	3	0	0	○すべての項目において家族の都合により以前より利用日数が減ってしまったため、なかなか情報がすぐに得られないこともありましたが、できるだけ配慮していただき、とても楽しく安心して通所することができています。引き続きよろしく願います。○活動によって部屋を変えたりしていただいて安全に活動できています。○10人以上の時だと狭く感じることもある。○仕方ないことではあるのですが、10人くらいになると横の方にぶつかりそうでヒヤヒヤします。日によって多い人少ない日があるからどちらともいいえ。○遊具がある部屋が少し狭く感じます。	・貴重なご意見ありがとうございました。法令を遵守したスペースになっておりますが、活動や場面によっては部屋を分ける等、今後も配慮しながら対応して参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	40	2	0	0	○日によって別のクラスもあるから少ない日がある。○人によって少し差があるように感じる。○子供の写真を撮ってくれたりするのうれしい。	・貴重なご意見ありがとうございました。職員配置は法令を遵守した人数となっております。・今後も職員の専門性の向上に努めて参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	38	3	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	41	2	0	0	○子ども用トイレの水洗レバーが反応の悪いところが数か所ある。これのせいで流さないでそのままの方がいる。○こまめに清掃の方が入ってくれるのでいつもキレイです。○夏場のエアコン設定が低すぎると感じる。運動時は適切だが、座っての活動や旧食事と同じ温度なので寒いと感じることが多い。○大人用でいいのでコート掛けがあるといいな。人数が多い日は座りにくい。○トイレがキレイなのでうれしい。においもない。	貴重なご意見ありがとうございました。今後も、よりよい生活空間で活動していけるよう検討して参ります。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	43	0	0	0	○こちらの意見を聞いてから子供に無理のないように配慮しながら作成してもらっている。○一人一人をよく見て考えてもらえていると思います。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	37	1	0	5		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	39	3	0	1	○職員の数が多く日は行ってくれているが、少ない日は行っていないように見える。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	37	4	1	1	○固定はないが、似ているようなのが2週間に1回とか行われている気がする。	貴重なご意見ありがとうございました。今後とも子ども達にあった支援ができるよう努めて参ります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	1	17	15	○特に必要と思いません。○幼稚園に行き、様子を見てくれるのでありがたいです。○去年の春に入園したばかりでわからない。○通っている園での交流である。○まだ参加の機会が無い(通園開始から日が浅いので)○あつたらいいと思う。○通園開始から日が浅いので不明。○今年度は保育園への訪問の案内がなかった。○交流は必要ないと思う。○まだ交流しているのを見たことがない。年1回くらいはあるのかな?	幼稚園・保育所と併行通園している方が多く、交流については保護者の方の判断で行っていただいております。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38	1	0	4	○最初に説明があつた気がするけど覚えてない。		
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	38	2	0	3			
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	29	4	4	5	○ペアトレがあるのは知っているが受けてないだけです。○こちらから先生への相談をしてないからトレーニングできてない気がします。	定期的に各専門分野からの保護者勉強会を実施しています。家族支援プログラムとしては、家庭で取り組めるプログラムとしてポータージ早期教育プログラムを取り入れています。	
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	38	4	0	1	○先生たちも忙しくて時間がない中でも必ずいつか時間を作って対応してくれるから理解できると思う。○行く回数が少ないので共有できていないかも。		

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	4	4	1	○いつも話を聞いていただき感謝しております。○忙しいのになぜ時間をいつか作ってくれているので行われていると思う。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5	10	18	○仲の良い保護者同士で固まってしまっているから連携されていない気がする。○父母活動や保護者会の開催があるのか不明。○母子分離は楽しみの一つです。○通園開始から日が浅いのでまだ参加の機会が無い。○保護者会というものはありませんが、個々人で連絡を取ったりしています。○入所してまだ短いため、保護者会があるのかわからない。	保護者会は現在、存続しておりません。クラスの状態に応じ、分離の機会を設け、保護者同士の連携の支援していますが、不十分な点については今後検討いたします。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33	3	0	7	○ルールを守らない人や困った人に対して、ちゃんと早く対応してくれていて良かったと思いました。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	2	0	2		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	31	3	0	9	○給食の予定表をもう少し早くいただけるか、1か月ごとにしていただくと助かります。○HPを見ない…。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	41	0	0	2		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	34	3	0	6	○マニュアルについてはよくわかりませんが、訓練はこまめに行われています。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	0	1	3		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	38	2	0	3	○毎日「明日は何の日？」と聞かれ通園の日と伝えるととてもうれしそうにしています。○月に1回行けるかどうかですが、子どもは楽しむことができている。○自転車のタイヤは2台とも取り替えた方がいいのかもしれない。○持って行く荷物を見るだけで通園の日だとわかるから楽しみにしていると思う。○"ママと一緒に"という点で楽しみにしています。○発達が遅れているため意思の疎通が難しいです。○毎回、帰り道で「楽しかった！」と言って、それだけでうれしく思う。	
	23	事業所の支援に満足しているか	40	2	0	1	○先生方をはじめとして施設の方全員が忙しい中一生懸命寄り添ってくださいます。とてもありがたいです。○子どもに対していつもどのように関わると良いか考え、工夫してくれています。	貴重なご意見ありがとうございました。今後とも、事業所を利用される皆様に満足していただける支援ができるよう努めて参ります。

※頂いたご意見はそのまま掲載しておりますが、個人情報保護等の観点から一部変更されているものもあります。

*1 この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。